

平成22年中の姫路市の人口の動き

姫路市総務局総務部情報政策課

1. はじめに

本書は、平成22年中の姫路市の人口の動きをまとめたものである。ここで述べる人口動態は、住民基本台帳法及び外国人登録法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。一部、標記がある場合については、住民基本台帳法に基づく転入・転出のみの集計となっている。また、本文において出てくる人口増減数は〔自然増減数+社会増減数〕、自然増減数は〔出生数-死亡数〕、社会増減数は〔転入者数-転出者数+その他〕、転入超過数は〔転入者数-転出者数〕、人口動態率等の比率(%)は〔人口千人あたりの比率〕を意味する。平成18年3月27日に合併した4町(家島町、夢前町、香寺町、安富町)については、平成18年3月の数値より含まれている。

2. 人口動態

人口は減少となった

(1) 概況

平成22年中の人口動態をみると、人口増減数は△29人で、前年と同様に人口減となった。人口増減を、自然増減と社会増減に分けてみると、自然増減数は119人増、社会増減数は148人減となっている。平成22年中の人口減は、社会増減が自然増減を大きく下回った事に起因する。自然増減数を前年と比べると、前年の171人増より52人減少した。一方、社会増減数は、前年の323人減と比べ、175人増加した。

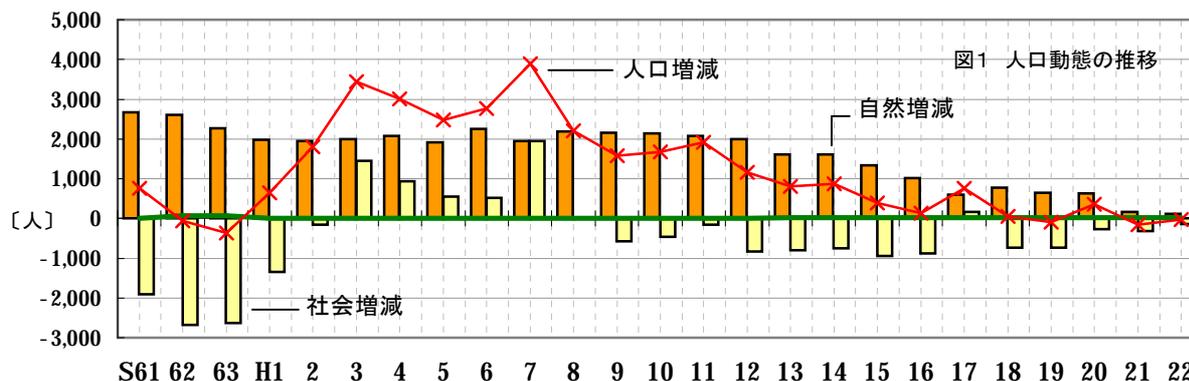


表1 人口動態の推移

(単位:人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態			
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他
S61	763	2,672	5,607	2,935	△ 1,909	14,598	16,610	103
62	△ 66	2,607	5,536	2,929	△ 2,673	14,289	17,152	190
63	△ 370	2,263	5,341	3,078	△ 2,633	14,154	16,984	197
H1	646	1,985	5,024	3,039	△ 1,339	14,757	16,291	195
2	1,805	1,955	5,196	3,241	△ 150	16,111	15,866	△ 395
3	3,445	1,995	5,182	3,187	1,450	17,120	15,901	231
4	3,012	2,083	5,305	3,222	929	16,474	15,716	171
5	2,472	1,920	5,295	3,375	552	16,685	16,319	186
6	2,761	2,249	5,521	3,272	512	16,783	16,528	257
7	3,896	1,942	5,352	3,410	1,954	18,881	17,192	265
8	2,200	2,189	5,566	3,377	11	16,943	17,132	200
9	1,575	2,151	5,635	3,484	△ 576	16,460	17,197	161
10	1,678	2,138	5,814	3,676	△ 460	16,598	16,993	△ 65
11	1,911	2,070	5,575	3,505	△ 159	16,286	16,630	185
12	1,168	1,996	5,663	3,667	△ 828	15,950	16,903	125
13	805	1,607	5,350	3,743	△ 802	16,081	17,066	183
14	870	1,616	5,280	3,664	△ 746	15,852	16,636	38
15	396	1,345	5,069	3,724	△ 949	15,810	16,859	100
16	126	1,013	4,994	3,981	△ 887	15,410	16,426	129
17	764	606	4,646	4,040	158	15,238	15,206	126
18	47	782	5,220	4,438	△ 735	15,232	16,035	68
19	△ 85	642	5,255	4,613	△ 727	14,654	15,650	269
20	363	631	5,091	4,460	△ 268	14,278	14,895	349
21	△ 152	171	5,055	4,884	△ 323	13,879	14,528	326
22	△ 29	119	4,999	4,880	△ 148	13,608	13,998	242

注) 外国人登録者数を含む。

(2) 男女別人口動態の推移

男性は人口増、女性は人口減となった

男女別の人口動態をみると、平成22年中の人口増減数は、男性が86人、女性が△115人で、前年の男性△23人、女性△129人と比べ、男性が109人増加、女性が14人増加した。また、自然増減、社会増減数別にみると、自然増減数は、男性が59人、女性が60人で、前年の男性△82人、女性253人と比べ、男性が141人増加、女性が193人減少した。また、社会増減数は、男性が27人、女性が△175人で、前年の男性59人、女性△382人と比べ、男性が32人の減少、女性が207人の増加となった。

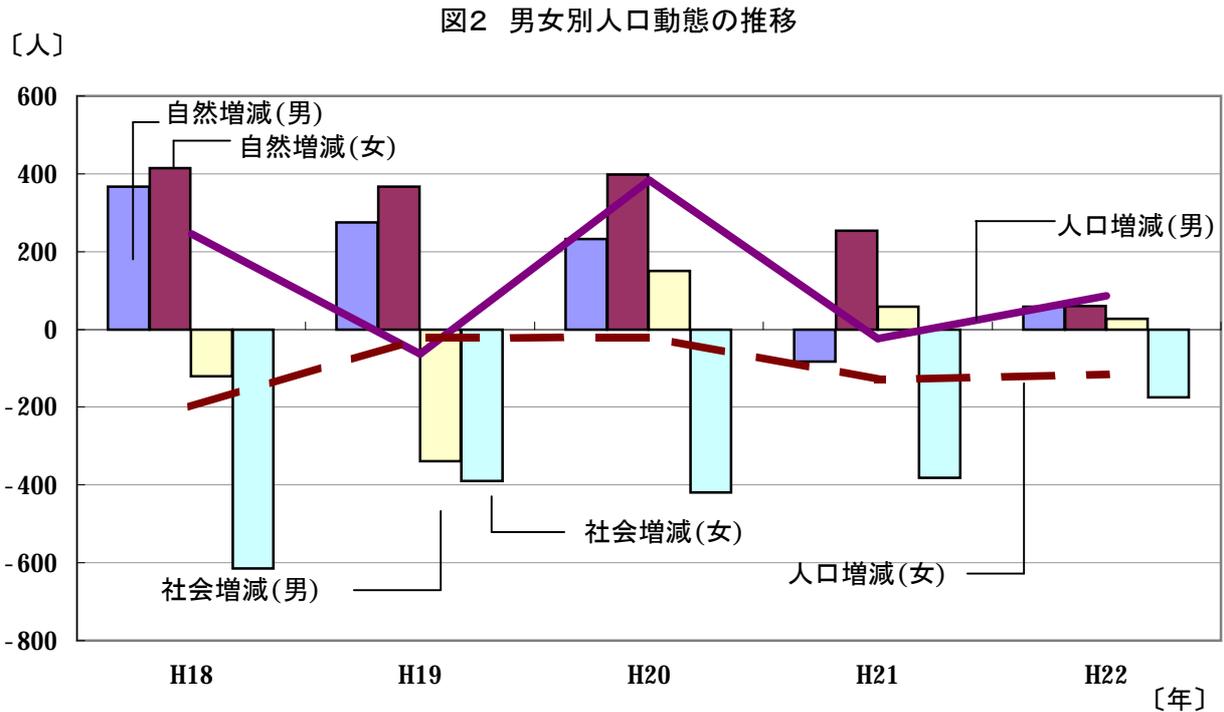


表2 男女別人口動態の推移

(単位：人)

区 分	人 口 増 減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
		総			数			
H18	47	782	5,220	4,438	△ 735	15,232	16,035	68
19	△ 85	642	5,255	4,613	△ 727	14,654	15,650	269
20	363	631	5,091	4,460	△ 268	14,278	14,895	349
21	△ 152	171	5,055	4,884	△ 323	13,879	14,528	326
22	△ 29	119	4,999	4,880	△ 148	13,608	13,998	242
		男						
H18	246	367	2,707	2,340	△ 121	8,164	8,290	5
19	△ 63	275	2,718	2,443	△ 338	7,847	8,332	147
20	384	233	2,587	2,354	151	7,789	7,876	238
21	△ 23	△ 82	2,578	2,660	59	7,618	7,788	229
22	86	59	2,597	2,538	27	7,313	7,447	161
		女						
H18	△ 199	415	2,513	2,098	△ 614	7,068	7,745	63
19	△ 22	367	2,537	2,170	△ 389	6,807	7,318	122
20	△ 21	398	2,504	2,106	△ 419	6,489	7,019	111
21	△ 129	253	2,477	2,224	△ 382	6,261	6,740	97
22	△ 115	60	2,402	2,342	△ 175	6,295	6,551	81

注) 外国人登録者数を含む。

(3) 月別人口動態の推移

人口増減数は、1月に最も減少し、7月に最も増加した

平成22年中の月別の人口動態をみると、人口増減数は、2月、5月から9月でプラスとなり、中でも7月は98人で最大となった。逆にマイナスとなったのは、1月、3月、4月、10月から12月で、減少数が最大となったのは1月の△79人であった。また、自然動態、社会動態別にみると、自然増減数は、1月、2月、11月、12月でマイナスとなり、その他の月ではプラスとなった。社会増減数は、4月、5月、7月、10月から12月でプラスとなり、中でも、4月は189人で最大となった。その他の月ではマイナスとなり、減少数が最大となったのは、2月の△242人であった。

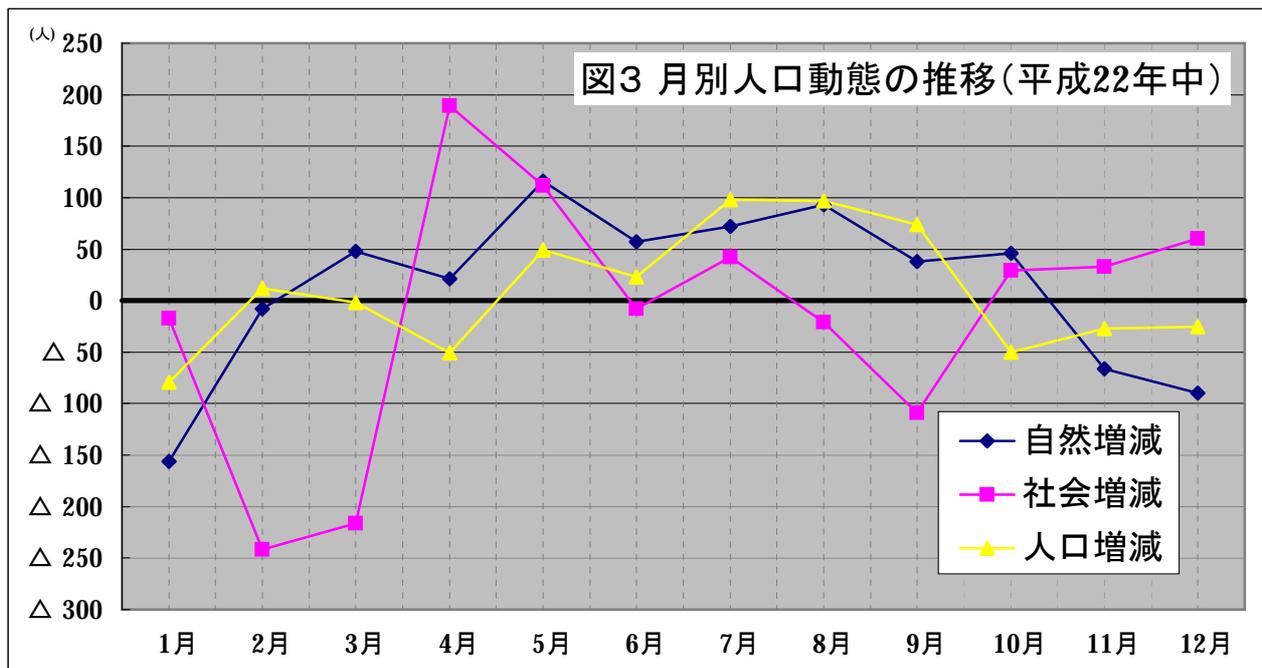


表3 月別人口動態の推移(平成22年中)

(単位：人)

区 分	人口増減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
H22年総数	119	171	4,999	4,880	△ 148	13,608	13,998	242
1月	△ 79	△ 156	424	503	△ 17	924	962	21
2月	△ 12	△ 8	421	409	△ 242	892	1,167	33
3月	△ 2	48	400	402	△ 216	2,648	2,896	32
4月	△ 51	21	377	428	189	1,567	1,405	27
5月	49	116	457	408	112	1,078	990	24
6月	23	57	343	320	△ 8	905	931	18
7月	98	72	455	357	42	991	966	17
8月	97	93	480	383	△ 21	925	954	8
9月	74	38	443	369	△ 109	988	1,114	17
10月	△ 50	46	396	446	29	996	983	16
11月	△ 27	△ 66	394	421	33	830	810	13
12月	△ 25	△ 90	409	434	60	864	820	16

注) 外国人登録者数を含む。

3. 自然動態
(1) 概況

自然増減数、自然増減率ともに昨年と比べて減少した

平成22年中の自然動態をみると、自然増減数は119人で、前年の171人と比べ、52人減少した。このため、自然増減率は0.22%となり、前年の0.32%と比べ、0.10ポイント減少し、自然増減数、自然増減率ともに昨年と比べて減少となった。また、出生、死亡別にみると、平成22年中の出生数は4,999人で、前年の5,055人と比べ、56人減少した。このため、出生率は9.32%となり、前年の9.42%と比べ、0.10ポイント減少した。また、死亡数は4,880人で、前年の4,884人と比べ、4人減少した。これに対し、死亡率は9.10%で、前年から増減なしであった。

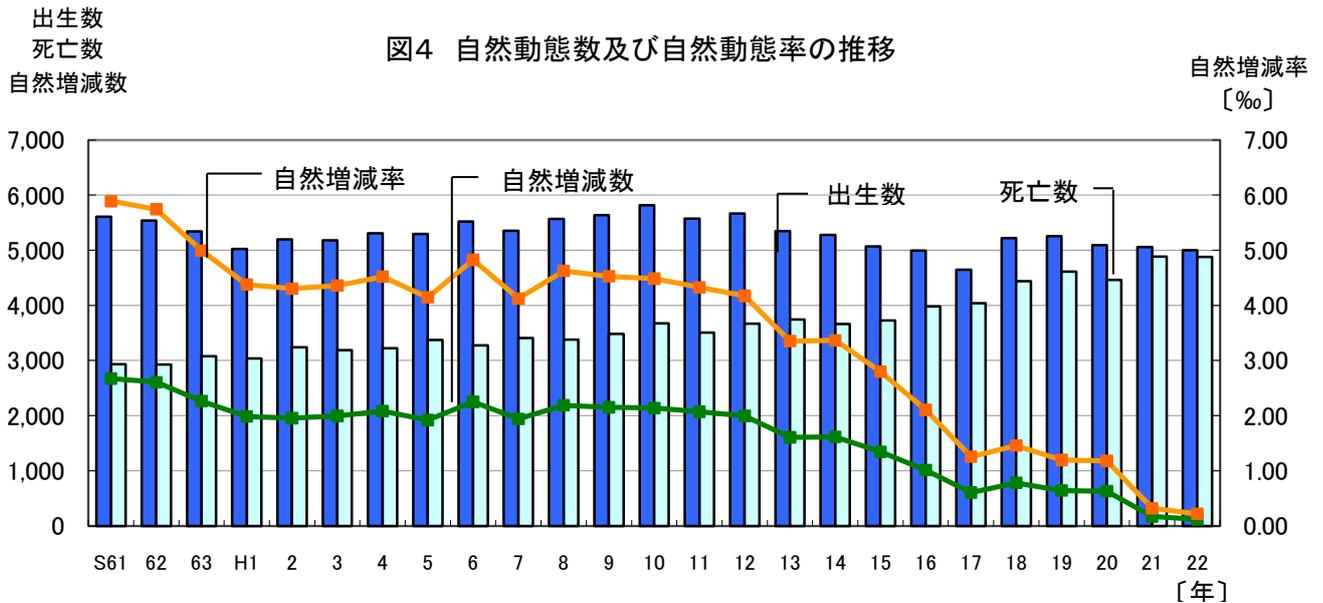


表4 自然動態数及び自然動態率の推移

(単位：人，%)

区分	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	人口 (10月1日現在)
S61	2,672	5,607	2,935	5.89	12.36	6.47	453,636
62	2,607	5,536	2,929	5.74	12.19	6.45	453,974
63	2,263	5,341	3,078	4.99	11.78	6.79	453,276
H1	1,985	5,024	3,039	4.38	11.08	6.70	453,586
※ 2	1,955	5,196	3,241	4.30	11.44	7.13	454,360
3	1,995	5,182	3,187	4.36	11.32	6.96	457,579
4	2,083	5,305	3,222	4.52	11.52	6.99	460,627
5	1,920	5,295	3,375	4.15	11.43	7.29	463,197
6	2,249	5,521	3,272	4.83	11.85	7.02	465,941
※ 7	1,942	5,352	3,410	4.12	11.36	7.24	470,986
8	2,189	5,566	3,377	4.63	11.76	7.14	473,177
9	2,151	5,635	3,484	4.53	11.86	7.33	475,167
10	2,138	5,814	3,676	4.48	12.19	7.71	476,800
11	2,070	5,575	3,505	4.33	11.65	7.33	478,433
※ 12	1,996	5,663	3,667	4.17	11.84	7.67	478,309
13	1,607	5,350	3,743	3.35	11.16	7.81	479,431
14	1,616	5,280	3,664	3.37	11.00	7.63	480,147
15	1,345	5,069	3,724	2.80	10.55	7.75	480,684
16	1,013	4,994	3,981	2.11	10.38	8.28	481,011
※ 17	606	4,646	4,040	1.26	9.63	8.38	482,304
18	782	5,220	4,438	1.46	9.74	8.28	536,067
19	642	5,255	4,613	1.20	9.80	8.60	536,256
20	631	5,091	4,460	1.18	9.49	8.31	536,502
21	171	5,055	4,884	0.32	9.42	9.10	536,447
※ 22	119	4,999	4,880	0.22	9.32	9.10	536,270

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。

外国人登録者数を含む。

(2) 出生率及び死亡率の推移

出生率は減少、死亡率は増減なしであった

出生率の推移をみると、姫路市の出生率は9.32%と昨年の9.42%から0.10ポイント減少した。全国の出生率と比べると、過去25年間、常に全国の数値を上回っており、平成10年には最大の2.59ポイント上回ったが、近年では、姫路市の出生率の減少傾向が大きくなり、平成22年には、その差が0.95ポイントと全国の出生率に近づいてきている。一方、死亡率をみると、姫路市では、平成22年は9.10%となり、前年と比べ、増減なしであった。過去20年間の推移をみると、多少の増減がありつつも増加傾向をたどっている。また、全国の死亡率と比べると、過去20年間、姫路市では全国とほぼ同様の推移をたどっている。

図5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

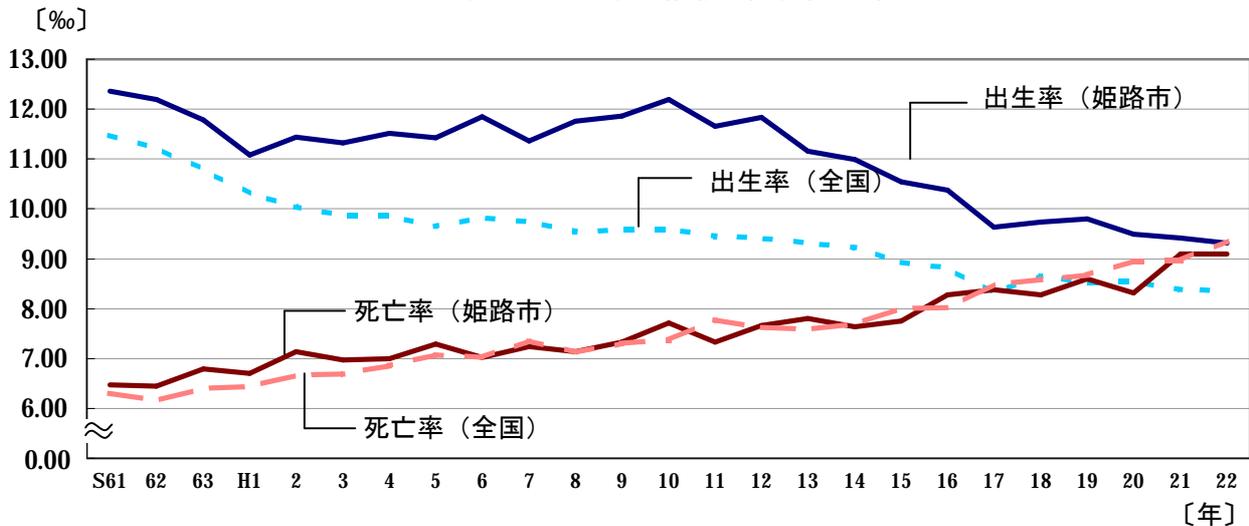


表5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

(単位: %)

区分	出生率		死亡率	
	姫路市	全国	姫路市	全国
S61	12.36	11.48	6.47	6.30
62	12.19	11.22	6.45	6.15
63	11.78	10.78	6.79	6.40
H1	11.08	10.31	6.70	6.45
2	11.44	10.04	7.13	6.67
3	11.32	9.86	6.96	6.69
4	11.52	9.87	6.99	6.86
5	11.43	9.65	7.29	7.07
6	11.85	9.83	7.02	7.02
7	11.36	9.73	7.24	7.36
8	11.76	9.55	7.14	7.12
9	11.86	9.58	7.33	7.30
10	12.19	9.60	7.71	7.37
11	11.65	9.45	7.33	7.78
12	11.84	9.41	7.67	7.62
13	11.16	9.31	7.81	7.59
14	11.00	9.23	7.63	7.69
15	10.55	8.93	7.75	8.01
16	10.38	8.82	8.28	8.02
17	9.63	8.32	8.38	8.48
18	9.74	8.66	8.28	8.59
19	9.80	8.53	8.60	8.67
20	9.49	8.55	8.31	8.95
21	9.42	8.38	9.10	8.97
22	9.32	8.37	9.10	9.35

注) 外国人登録者数を含む。

4. 社会動態

(1) 概況

転入超過率、昨年に引き続きマイナス

平成22年中の社会動態をみると、転入超過数は△390人で、昨年の△649人と比べ、259人増加した。このため、転入超過率は△0.73%となり、前年の△1.21%と比べ、0.48ポイント増加したが、昨年に引き続き率がマイナスとなった。また、転入、転出別にみると、平成22年中の転入者数は13,608人で、前年の13,879人と比べ、271人減少した。このため、転入率は25.38%となり、前年の25.87%と比べ、0.49ポイント減少した。また、転出者数は13,998人で、前年の14,528人と比べ、530人減少した。このため、転出率は26.10%で、前年の27.08%と比べ、0.98ポイント減少した。

図6 転入・転出者数の推移

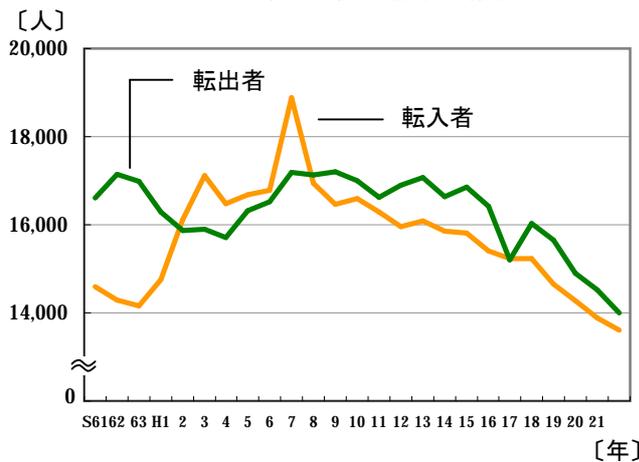


図7 転入超過率の推移

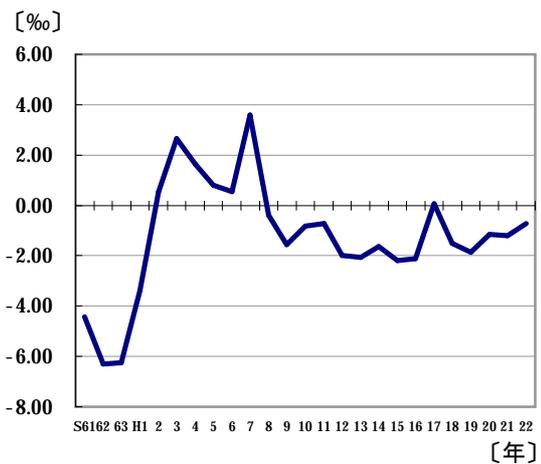


表6 社会動態数及び社会動態率の推移

(単位：人，‰)

区分	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過率	転入率	転出率	人口 (10月1日現在)
S61	△ 2,012	14,598	16,610	△4.44	32.18	36.62	453,636
62	△ 2,863	14,289	17,152	△6.31	31.48	37.78	453,974
63	△ 2,830	14,154	16,984	△6.24	31.23	37.47	453,276
H1	△ 1,534	14,757	16,291	△3.38	32.53	35.92	453,586
* 2	245	16,111	15,866	0.54	35.46	34.92	454,360
3	1,219	17,120	15,901	2.66	37.41	34.75	457,579
4	758	16,474	15,716	1.65	35.76	34.12	460,627
5	366	16,685	16,319	0.79	36.02	35.23	463,197
6	255	16,783	16,528	0.55	36.02	35.47	465,941
* 7	1,689	18,881	17,192	3.59	40.09	36.50	470,986
8	△ 189	16,943	17,132	△0.40	35.81	36.21	473,177
9	△ 737	16,460	17,197	△1.55	34.64	36.19	475,167
10	△ 395	16,598	16,993	△0.83	34.81	35.64	476,800
11	△ 344	16,286	16,630	△0.72	34.04	34.76	478,433
* 12	△ 953	15,950	16,903	△1.99	33.35	35.34	478,309
13	△ 985	16,081	17,066	△2.05	33.54	35.60	479,431
14	△ 784	15,852	16,636	△1.63	33.01	34.65	480,147
15	△ 1,049	15,810	16,859	△2.18	32.89	35.07	480,684
16	△ 1,016	15,410	16,426	△2.11	32.04	34.15	481,011
* 17	32	15,238	15,206	0.07	31.59	31.53	482,304
18	△ 803	15,232	16,035	△1.50	28.41	29.91	536,067
19	△ 996	14,654	15,650	△1.86	27.33	29.18	536,256
20	△ 617	14,278	14,895	△1.15	26.61	27.76	536,502
21	△ 649	13,879	14,528	△1.21	25.87	27.08	536,447
* 22	△ 390	13,608	13,998	△0.73	25.38	26.10	536,270

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。
外国人登録者数を含む。

(2) 県内地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

県内の転入者数は増加、転出者数は昨年に引き続き減少となった

県内の社会動態をみると、平成22年中の転入超過数は200人で、前年の△133人と比べ、333人増加した。地域別にみると、神戸地域の△283人、阪神北地域の△17人、阪神南地域の△39人と3つの地域で転入超過数がマイナスであったのに対し、西播磨地域の244人をはじめ、それ以外の地域ではプラスであった。また、転入、転出者数別にみると、平成22年中の転入者数は6,160人で、前年の6,147人と比べ、13人増加した。地域別にみると、西播磨地域の1,865人が最も多く、次いで東播磨地域の1,719人、神戸地域の892人となった。また、転出者数は5,960人で、前年の6,280人と比べ、320人減少した。地域別にみると、西播磨地域の1,621人が最も多く、次いで東播磨地域の1,594人、神戸地域の1,175人となった。

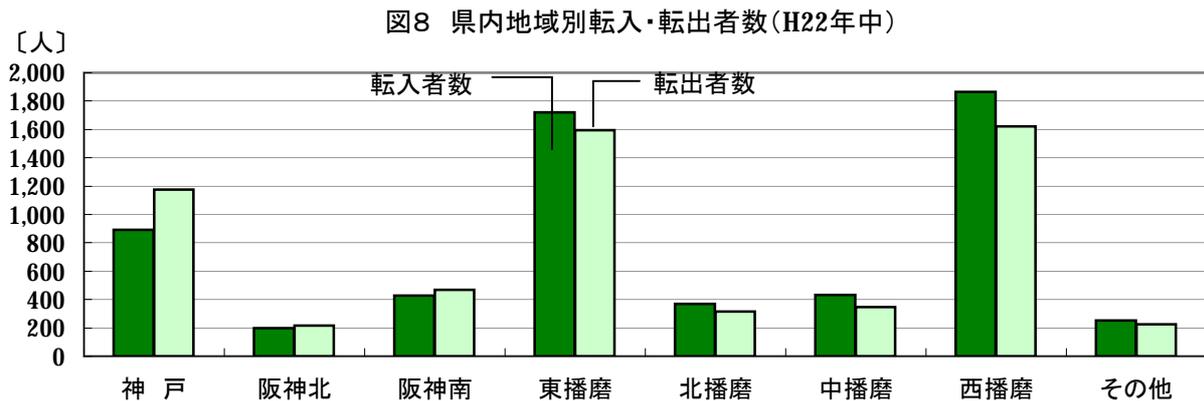


表7 県内地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

区分	総数	地域							
		神戸	阪神北	阪神南	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	その他
転入超過数									
H18	△ 9	△ 242	△ 8	△ 178	71	19	115	161	45
19	△ 315	△ 343	△ 53	△ 152	△ 239	18	94	211	96
20	△ 411	△ 380	374	△ 128	△ 250	46	71	95	135
21	△ 133	△ 342	188	△ 295	△ 139	106	△ 6	313	42
22	200	△ 283	△ 17	△ 39	125	54	87	244	29
転入者数									
H18	6,787	946	253	442	1,788	401	633	2,016	308
19	6,393	933	211	476	1,572	402	471	1,974	354
20	6,252	896	606	461	1,572	394	480	1,848	352
21	6,147	901	410	243	1,567	428	390	1,933	275
22	6,160	892	200	430	1,719	369	432	1,865	253
転出者数									
H18	6,784	1,188	261	612	1,717	370	518	1,855	263
19	6,708	1,276	264	575	1,811	384	377	1,763	258
20	6,663	1,276	232	249	1,822	348	409	1,753	217
21	6,280	1,243	222	538	1,706	322	396	1,620	233
22	5,960	1,175	217	469	1,594	315	345	1,621	224

注) 外国人登録者数を含まない。

合併があった市町については、合併期日以前は旧市町地域で、合併期日以後は新市町地域で計上している。

[地域区分]

神戸地域：神戸市

阪神南地域：尼崎市、西宮市、芦屋市

阪神北地域：伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

東播磨地域：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

北播磨地域：西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町

中播磨地域：市川町、福崎町、神河町

西播磨地域：相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、太子町、上郡町、佐用町

その他の地域：豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市

淡路市

(3) 県外地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

県外の転入者数、転出者数ともに減少した

県外の社会動態をみると、平成22年中の転入超過数は△536人で、前年の△402人と比べ、134人減少した。地域別にみると、九州・沖縄地方の138人、北海道・東北地方の3人の2つの地域で転入超過数がプラスであったのに対して、関東地方の△287人、近畿地方の△204人をはじめ、その他の地域ではマイナスとなった。また、転入、転出者数別にみると、平成22年中の転入者数は6,425人で、前年の6,659人と比べ、234人減少した。地域別にみると、近畿地方の1,974人が最も多く、次いで中国・四国地方の1,320人、関東地方の1,235人となった。また、転出者数は6,961人で、前年の7,061人と比べ、100人減少した。地域別にみると、近畿地方の2,178人が最も多く、次いで、関東地方の1,522人、中国・四国地方の1,363人となった。

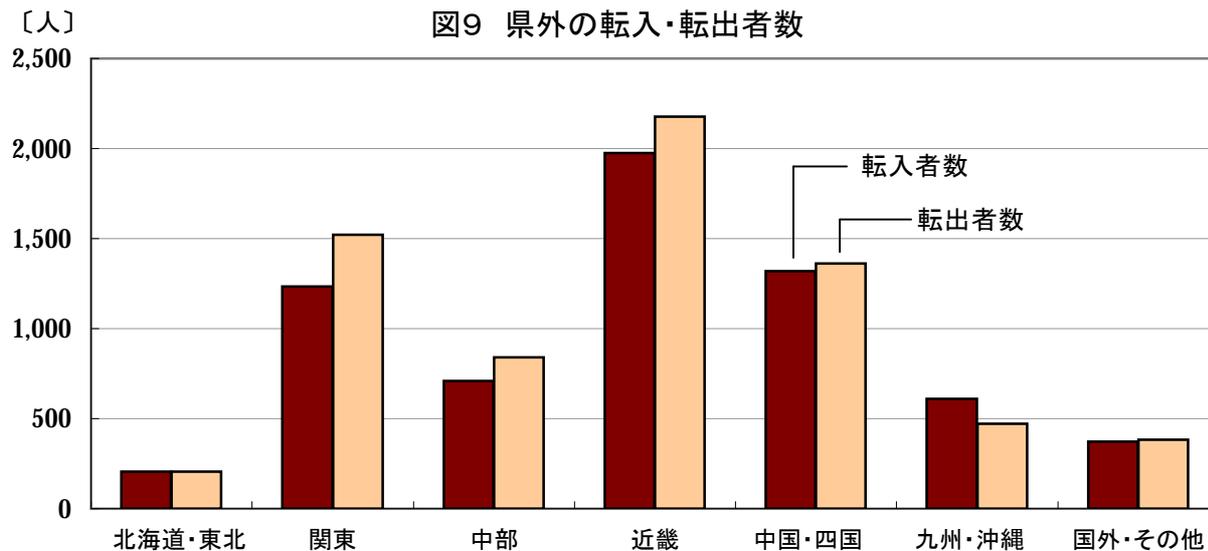


表8 県外地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

区分	総数	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	国外・その他
		転入超過数						
H18	△ 710	14	△ 490	△ 173	△ 145	113	18	△ 47
19	△ 720	35	△ 436	△ 246	△ 356	146	134	3
20	△ 346	20	△ 422	△ 165	△ 201	284	174	△ 36
21	△ 402	35	△ 238	△ 136	△ 166	104	16	△ 17
22	△ 536	3	△ 287	△ 130	△ 204	△ 43	138	△ 13
		転入者数						
H18	6,753	229	1,079	735	2,258	1,567	565	320
19	6,915	210	1,158	719	2,126	1,640	688	374
20	6,647	181	1,129	751	2,070	1,517	648	351
21	6,659	193	1,327	794	2,072	1,362	532	379
22	6,425	207	1,235	709	1,974	1,320	609	371
		転出者数						
H18	7,463	215	1,569	908	2,403	1,454	547	367
19	7,635	175	1,594	965	2,482	1,494	554	371
20	6,993	161	1,551	916	2,271	1,233	474	387
21	7,061	158	1,565	930	2,238	1,258	516	396
22	6,961	204	1,522	839	2,178	1,363	471	384

注) 外国人登録者数を含まない。

〔地方区分〕

北海道・東北地方：北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県

中国・四国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県